

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C	
横断的な課題	「教育が人を呼び込む」首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり					
地域重点政策	「教育が人を呼び込む」首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり					
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属	企画振興課
事業名	佐久地域の移住スタイル発信事業				電話	0267-63-3132
					E-mail	sakuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	佐久地域の新しい働き方や、移住者と子育てに係る支援策等を発信することで、移住促進及びつながり人口の増加を図る。				
	現状と課題	○風越学園や大日向小中学校など特色ある教育を行う学校や、やまほいくを実践する保育園や幼稚園、南相木村と北相木村における山村留学など、多種多様な教育が行われている。 また、令和6年4月から新たに私立小学校2校が開校し、特徴的な教育が広がっている。 ○地域ごとに仕事・ライフスタイルに特徴があり、生活圏が広域的であることから、市町村を超えた取組を行うことで多様な選択肢を示すことができる。 ○「しあわせ信州創造プラン2.0」佐久地域計画において、移住者数が目標値の449人を大幅に上回る982人となったことから、佐久地域への移住の需要は高く、今後も引き続き、佐久地域の情報発信を実施することが必要と考えられる。				
	内容 (変更後の内容)	○移住相談会の実施 佐久地域への移住者が多い首都圏において、市町村や特色ある教育に取り組んでいる団体を集めて対面形式の相談会を開催し、移住希望者等に直接佐久地域の魅力をPRする。 【日時】令和6年10月26日(土)13:30～16:30 【場所】ビジョンセンター東京駅前(東京都中央区八重洲1-8-17新横町ビル7F) 【参集者】首都圏で長野県への移住に興味がある方(定員25組50名程度) ○佐久地域移住ガイドブックの発行 佐久地域の市町村の特徴や特色ある教育、先輩移住者の体験談と生活の様子などを掲載し、移住希望者を対象に移住相談会やHP等で情報発信することで、より深く移住イメージを持ってもらい、移住促進を図る。 (10月21日1,000部発行、2月中旬500部増刷) ○移住者交流会の開催 佐久地域への移住者同士のネットワーク構築と情報交換、交流する場を設け、地域内定住を促進する。 【日時】令和7年2月15日(土) 13時30分～15時30分 【場所】TonaRide(JR小海線中込駅構内) 【参集者】佐久地域への移住者(移住予定者含む) 10人 【ファシリテーター】株式会社MoSAKU 代表取締役 柳澤拓道氏 【交流イベント講師】EDIT COFFEE ROASTERY オーナー 井出太輝氏				
	事業期間	R6.6 ～ R7.3				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	移住個別相談会	市町村及び特色ある教育を行っている団体を集め、面談形式の個別相談会を実施する	310,935			
	ガイドブック発行	ガイドブックの制作(紙)1,500	898,200			
	移住者交流会	移住者同士の交流の場を設け、地域内定住を促進する	110,624			
	合 計		1,319,759			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	相談会参加者(令和5年度:33名)		40名以上	31組67名	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成	
	移住個別相談会参加者のアンケート満足度(令和5年度:80%)		80%以上	93%		
	移住者交流会満足度		80%以上	100%		

事業実績・成果	【個別相談会】 ・令和5年度に引き続き首都圏で開催し、31組67名が参加。 ・佐久地域定住自立圏の構成市町村のうち、定住促進・交流推進施策分野の協定締結市町村と合同開催し、多くの市町村の情報を発信をするとともに、県教育委員会を含む5団体の特色ある学びを周知した。 【移住ガイドブック】 ・管内11市町村の特徴や、移住者の声、特色ある教育を展開する学校などを紹介したガイドブックを発行した。 ・移住相談会や銀座NAGANO等での配布や県HPへの掲載により、首都圏等から佐久地域への移住を検討している方に移住地の検討材料として届けることができた。 【移住者交流会】 佐久地域の移住者に市町村の枠を超えた交流の機会を提供することにより、新たなつながりを創出し、定住への支援とした。
今後の方向性	移住個別相談会については、教育団体への相談や仕事相談ができるようにしたことで参加者から好評を得たことから、今後も市町村のほか管内教育団体やハローワークに参加協力をもらいながら実施していきたい。 初めて開催した移住者交流会では、地域活性化や地域課題解決に興味のある参加者が多かったことから、来年度は移住者や地域づくり団体が交流しながら地域課題解決に取り組むきっかけとなる場の提供をしてまいりたい。